事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和02年07月03日(金)

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	深谷消防署	担当係	深谷消防署	管理番号	4521
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・消防法 ・消防組織法 ・消防力の整備指針 ・深谷市消防警防規程				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	平成１５年６月、神戸市において消火活動中の消防職員４名が殉職した火災を契機に、安全管理面からの指揮体制整備の必要性が指摘され、平成１７年６月に当時の消防力の基準が改正、全国の消防署に指揮隊を配備するよう指針が示された。深谷市消防本部では、平成２０年度に警防課へ指揮隊１隊を配置し、平成２４年度からは、深谷消防署及び花園消防署の２署２隊体制により、災害活動時の安全管理の確保と円滑、効果的な活動を推進している。
目的 ※何のために	災害活動時の安全管理の確保と、円滑かつ効果的な活動を推進し、市民の安全、安心を守る。
対象 ※誰・何を対象に	市民の生命、身体及び財産。
手段 ※どのように	訓練及び研修会を実施する。
成果 ※何を求めるか	災害活動時の職員受傷事故ゼロを目指す。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0

本事業の主な業務

・ 指揮隊災害出場統計の作成	・
・ 指揮支援活動業務	・
・ 訓練及び災害活動時の安全管理	・
・ 災害活動技術の調査研究	・
・ 指揮資器材の維持管理業務	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費相当試算※１	777,900	778,200	786,100	814,800	814,800	
		0	0	0	0	0	
(総事業費試算)		777,900	778,200	786,100	814,800	814,800	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	指揮隊出場件数（暦年）	目標値	件							■
			実績値		155.00	138.00	125.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指揮隊の災害出場件数であり、目標値の設定に値しない。							
		出場件数									
■	活動指標２	訓練・研修回数	目標値	回	20.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	□
			実績値		22.00	22.00	22.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間訓練計画に基づく目標値とする。（実施回数を詳細に計上。）							
		実施回数									
□	活動指標３	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１００%の資器材点検を目標とする。							
		実施日／３６５日×１００									
□	成果指標１	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		車載されている全資器材の常時使用可能率							
		使用可能数／全資器材×１００									
■	成果指標２	二次災害事故防止率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指揮隊が出場する災害活動での職員の二次災害事故防止率							
		無受傷事故件数／全件数×１００									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 年間行事、訓練等実施計画どおり実施することができた。また、車両及び車載資器材を、通年点検することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 指揮隊が出場した災害において、職員の受傷事故防止を１００%達成することができた。また、車載されている資器材を常時使用可能率１００%達成することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	指揮係長　松本秀行・武政英雄

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	年間行事・訓練等実施計画に基づいた訓練を実施していくことで、職員一人ひとりの技術を向上させ、災害現場でのＦａｓｔ　Ａｔｔａｃｋ　ＰｒｉｄｅⅢ（深谷式新消防戦術）の円滑な運用を図り、より早い放水開始を目指す。
達成状況 及び その効果	年間訓練等実施計画に基づき、活動審査会の実施及び署所間におけるペア連携訓練を実施したことで、現場活動では、迅速な放水体制、各隊の連携強化の運用を図ることができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	深谷消防署	担当係	深谷消防署	管理番号	4521

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

複雑多様化する災害に対しては、活動時における危険情報を収集し、災害現場における安全管理を徹底することが重要である。二次災害事故を未然に防ぐことが、被害の拡大防止に繋がっていく。

評価者	深谷消防課長　小林晃昌

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

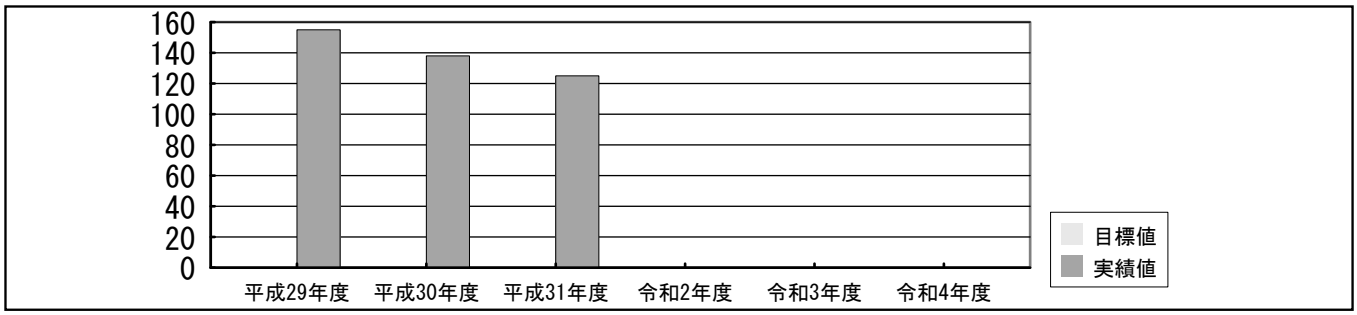
改善・改革案	部隊の連携を深めるための効果的な指揮運用を実施することで各種災害における職員の事故防止に努めるとともに、各種感染症への感染防止対策を徹底し、公務災害の予防に努める。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

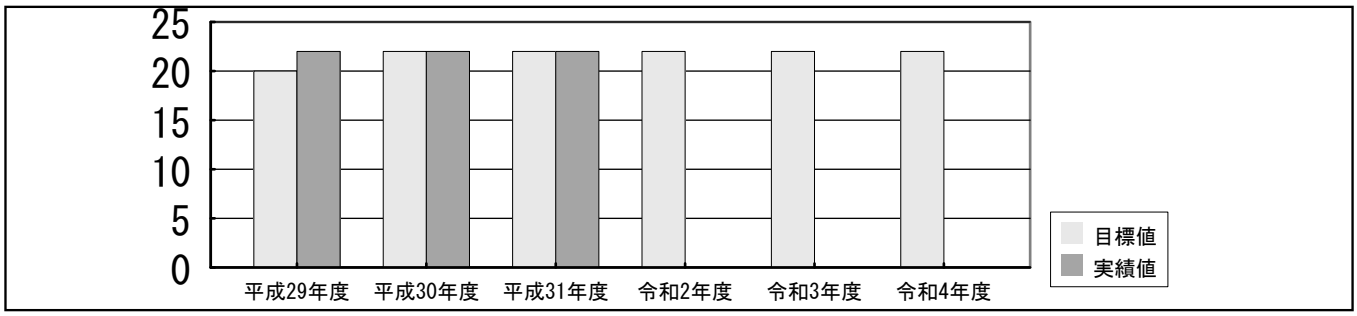
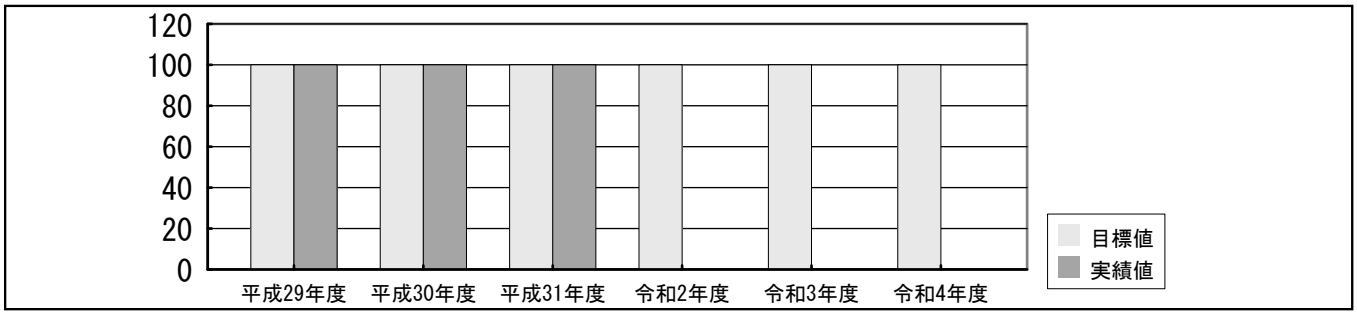
今後の課題	各種災害活動時における職員の感染予防対策であるマスクやゴーグル等の着用に伴い、熱中症等の体調管理や視界不良による事故防止に留意しなければならない。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	指揮隊出場件数（暦年）



区分	活動指標２	指標名	訓練・研修回数



区分	成果指標２	指標名	二次災害事故防止率